

2019年3月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2019年5月13日

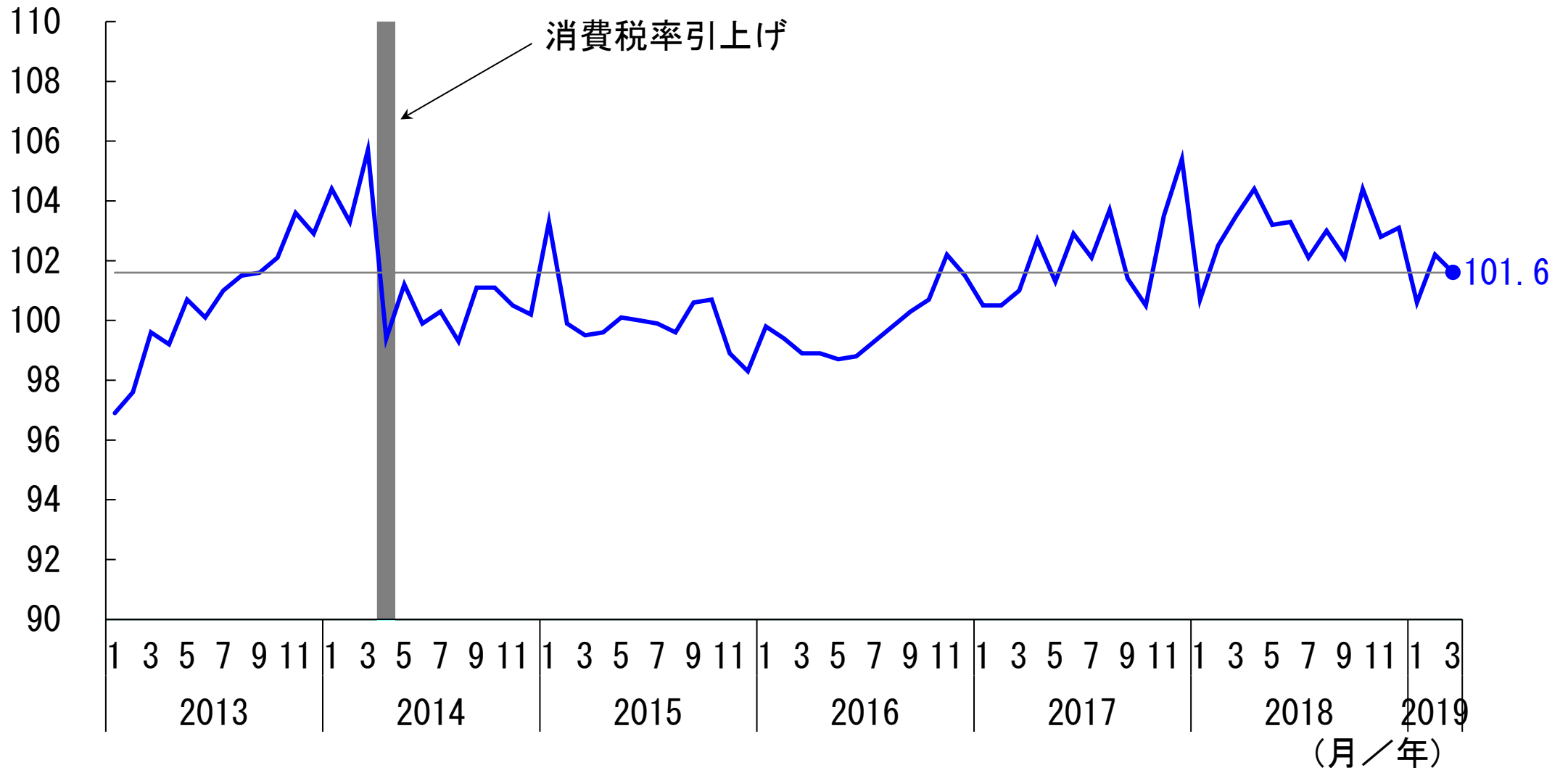
経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

鋳工業出荷指数の動向

- ・ 2019年3月の鋳工業出荷指数は101.6(前月比-0.6%)と2か月ぶりの低下。
- ・ 2019年1月の100.6以来の指数水準。

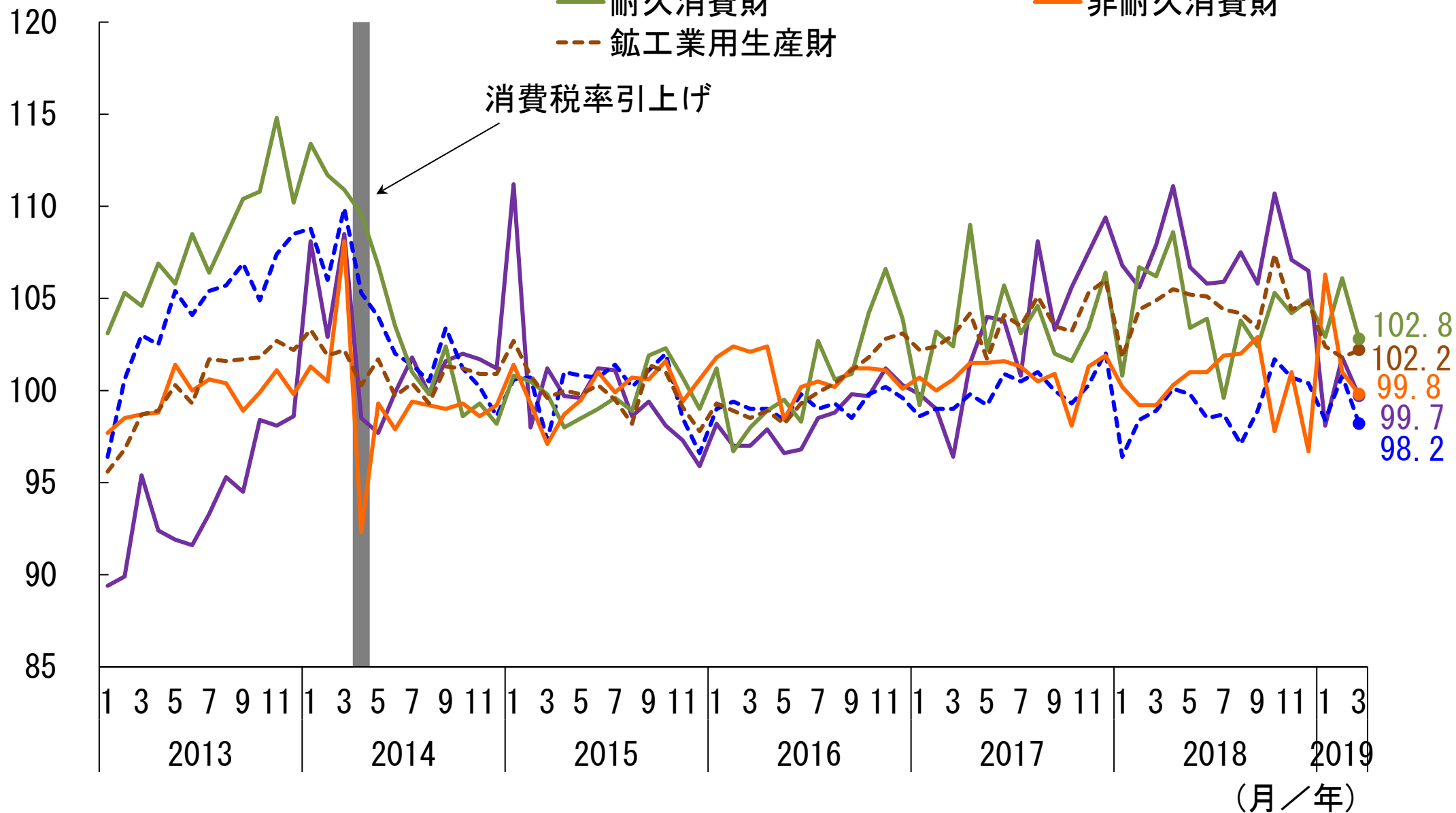
(2015年=100、季節調整済)



財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- 耐久消費財
- - 鉱工業用生産財
- - 建設財
- 非耐久消費財



2019年3月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	101.6 -0.6%	105.7 -0.7%	100.6 -0.4%
指数水準	2019.1 100.6以来 ①2013.1 96.9 ②2013.2 97.6 ③2015.12 98.3	2019.1 98.1以来 ①2013.2 90.9 ②2013.1 92.7 ③2014.1 93.6	2018.1 98.6以来 ①2013.1 97.7 ②2018.1 98.6 ③2014.8 98.7
前月比の動き	2か月ぶりー (2019.1以来)	2か月ぶりー (2019.1以来)	2か月ぶりー (2019.1以来)
前月比幅	2019.1 -2.4%以来 ①2014.4 -6.0% ②2018.1 -4.5% ③2015.2 -3.3%	2019.1 -7.4%以来 ①2015.2 -8.7% ②2017.1 -8.1% ③2019.1 -7.4%	2019.1 -1.9%以来 ①2014.4 -7.6% ②2018.1 -5.9% ③2017.5 -2.7%

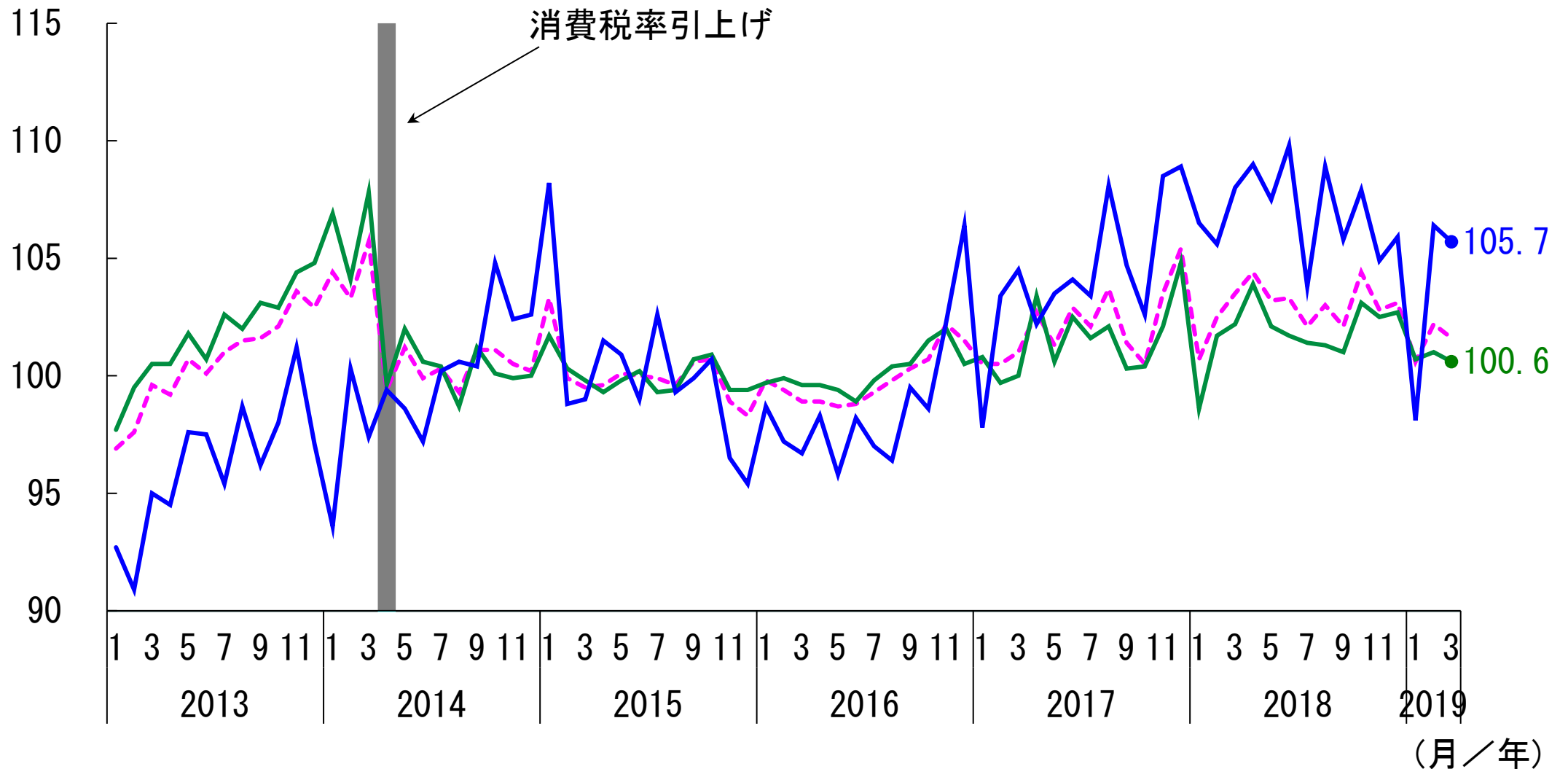
(注) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2019年3月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは100.6(前月比-0.4%)と2か月ぶりの低下、輸出向けは105.7(前月比-0.7%)と2か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

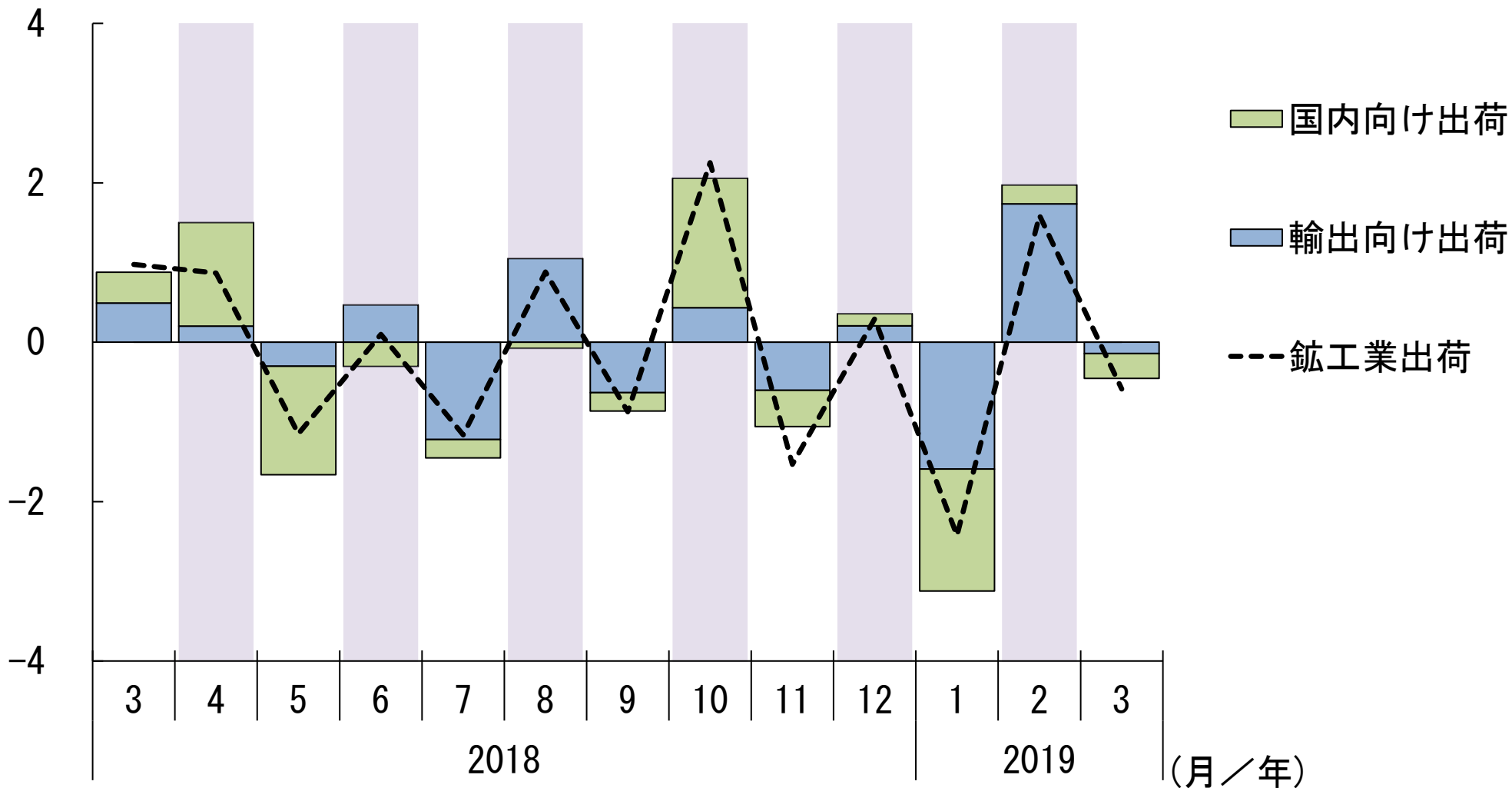
--- 鉱工業出荷 — 国内向け — 輸出向け



鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2019年3月の鉍工業出荷は国内向け、輸出向けともに低下したため、前月比-0.6%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

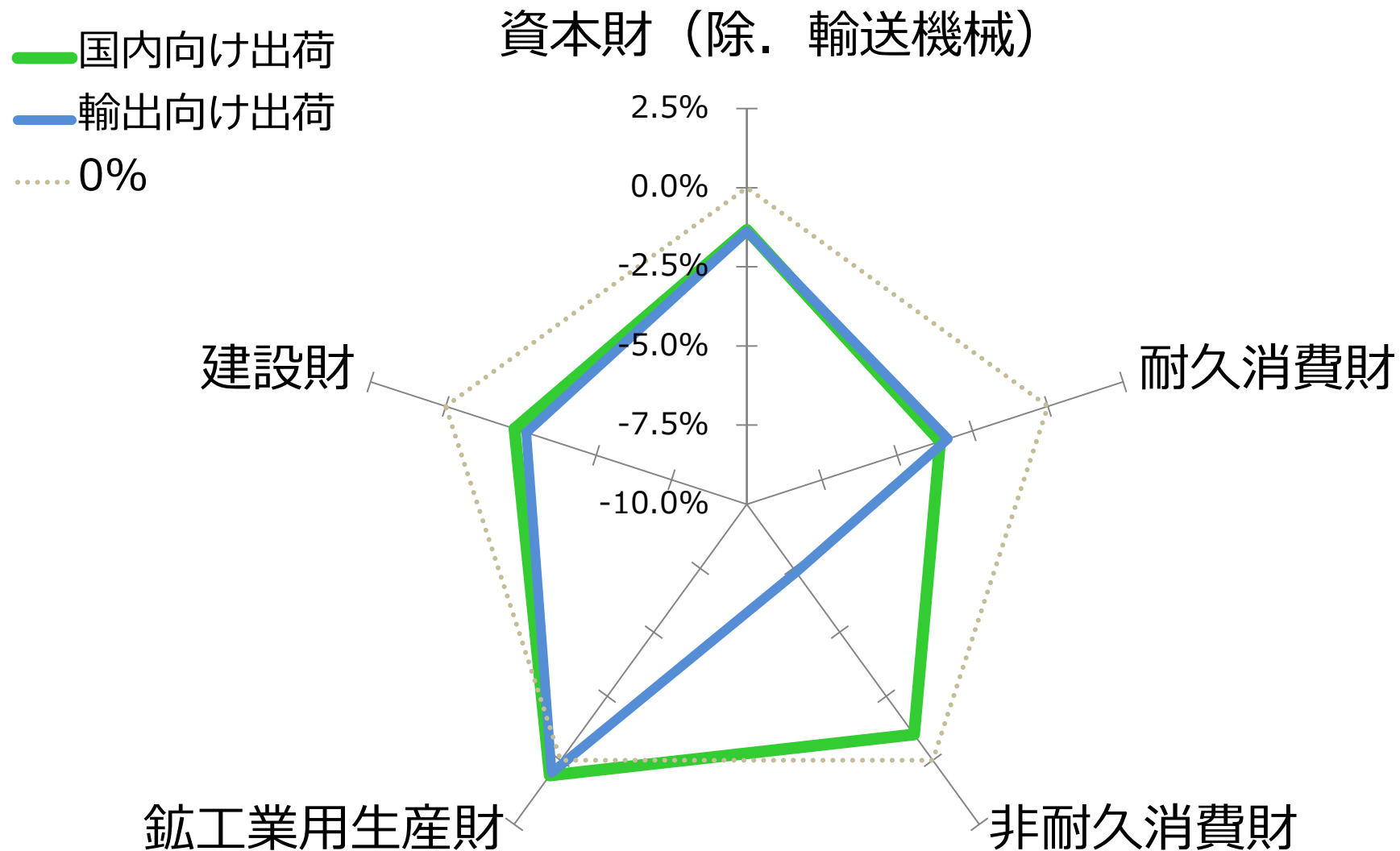


主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	-1.4	-1.23	0.21
生産用機械工業	-6.7	-5.12	-1.16
汎用・業務用機械工業	2.0	3.18	-0.46
電気・情報通信機械工業	2.3	1.32	0.84
輸送機械工業	-1.4	-1.14	-0.16
化学工業(除. 医薬品)	2.4	2.49	0.98

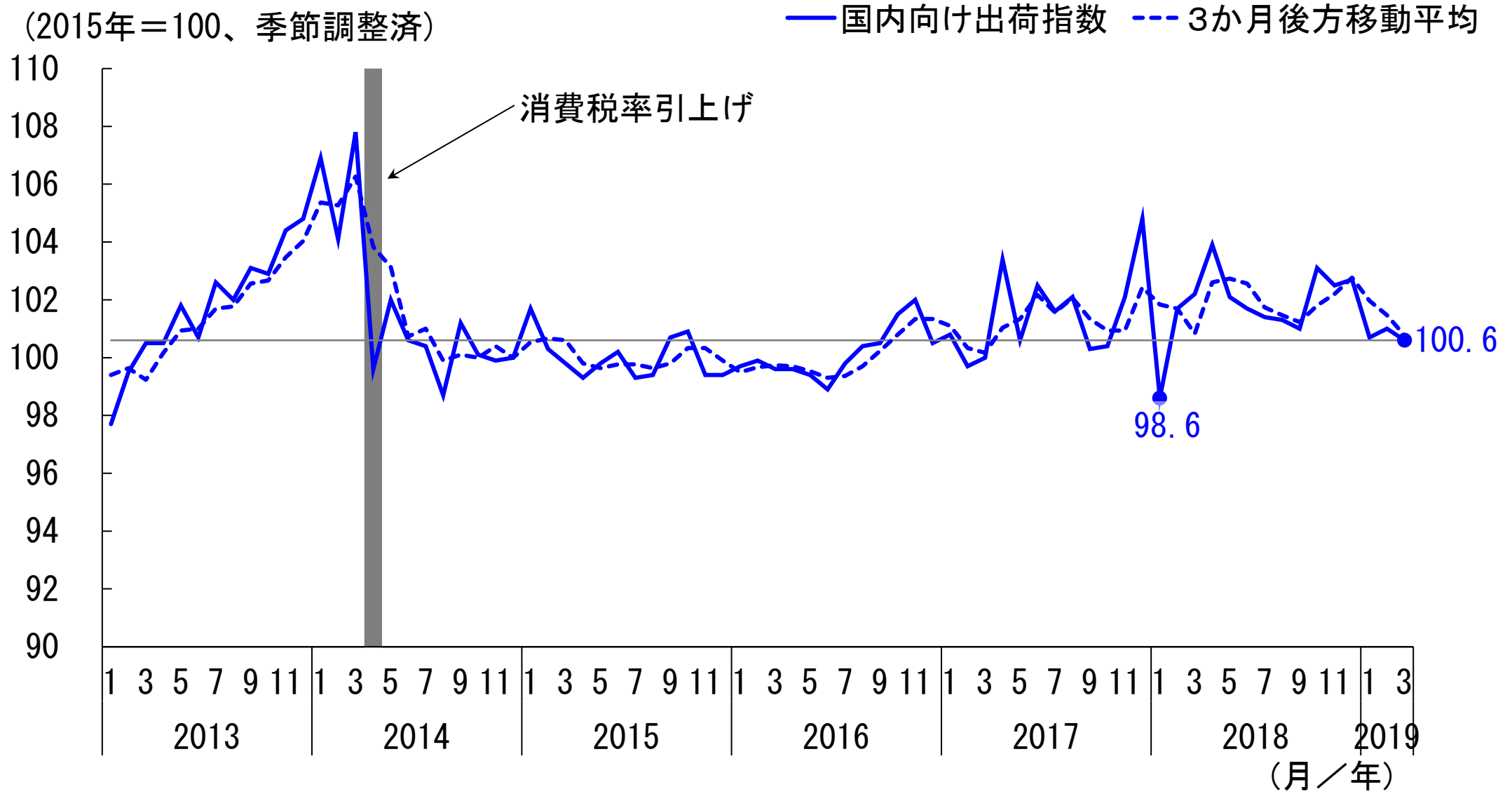
財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	0.4	0.45	0.12
資本財(除. 輸送機械)	-2.1	-0.83	-0.52
建設財	-2.6	-2.13	-0.17
耐久消費財	-3.1	-2.69	-0.83
非耐久消費財	-1.2	-0.96	-0.31

国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較(2019年3月)



国内向け出荷指数の動向

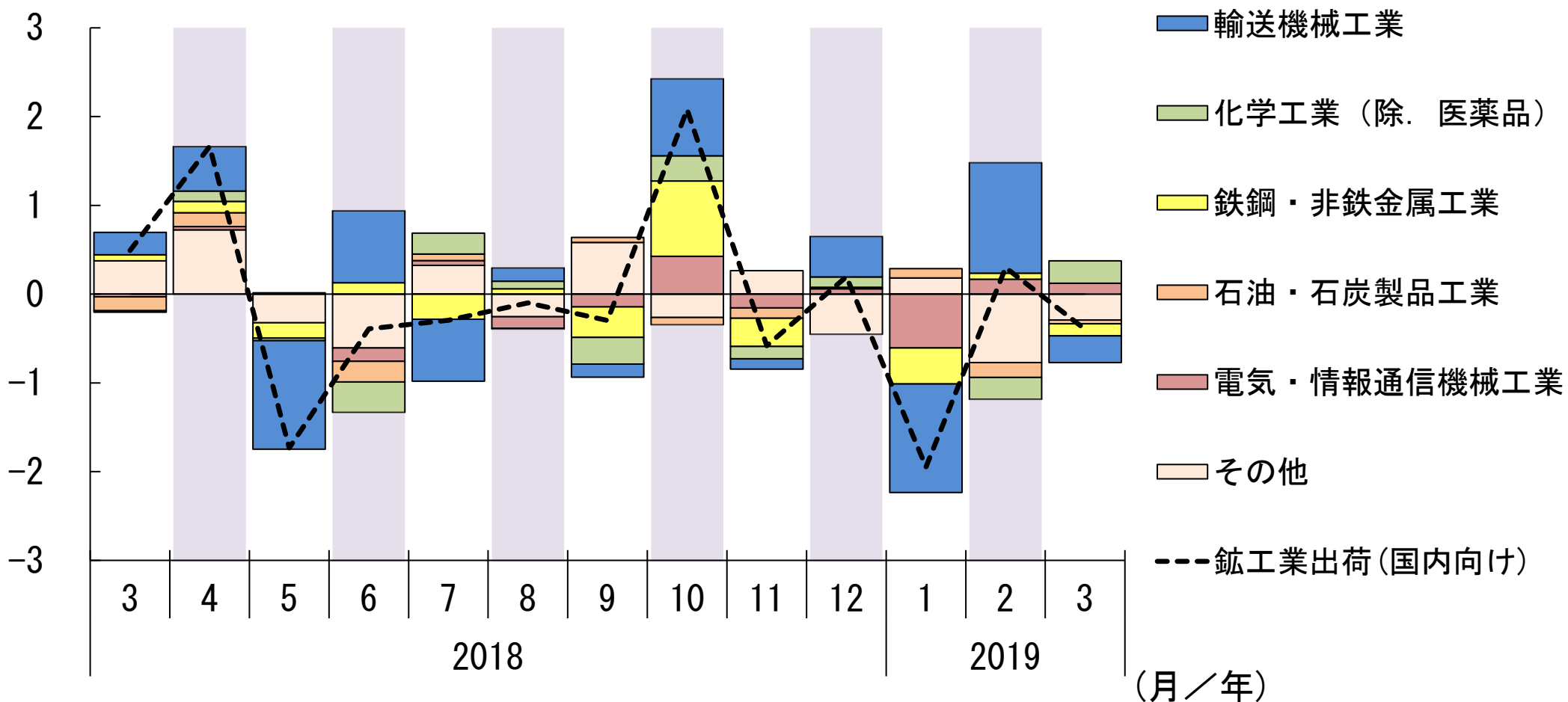
- ・ 2019年3月の国内向け出荷指数は100.6(前月比-0.4%)と2か月ぶりの低下。
- ・ 2018年1月の98.6以来の指数水準。



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2019年3月の国内向け出荷を主要業種別にみると、化学工業（除. 医薬品）などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



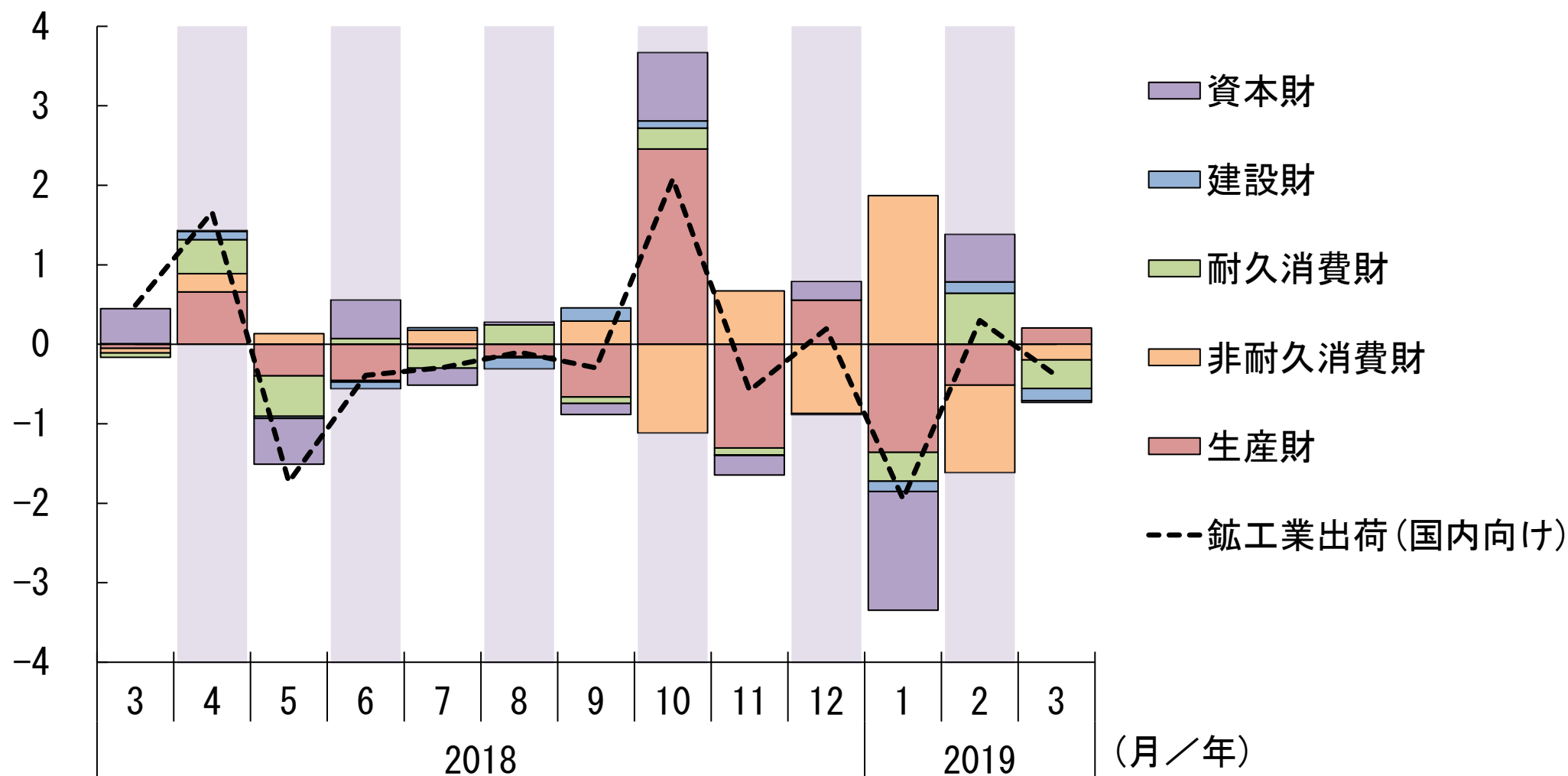
(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2019年3月の国内向け出荷を財別にみると、生産財が上昇したものの、耐久消費財などが低下。

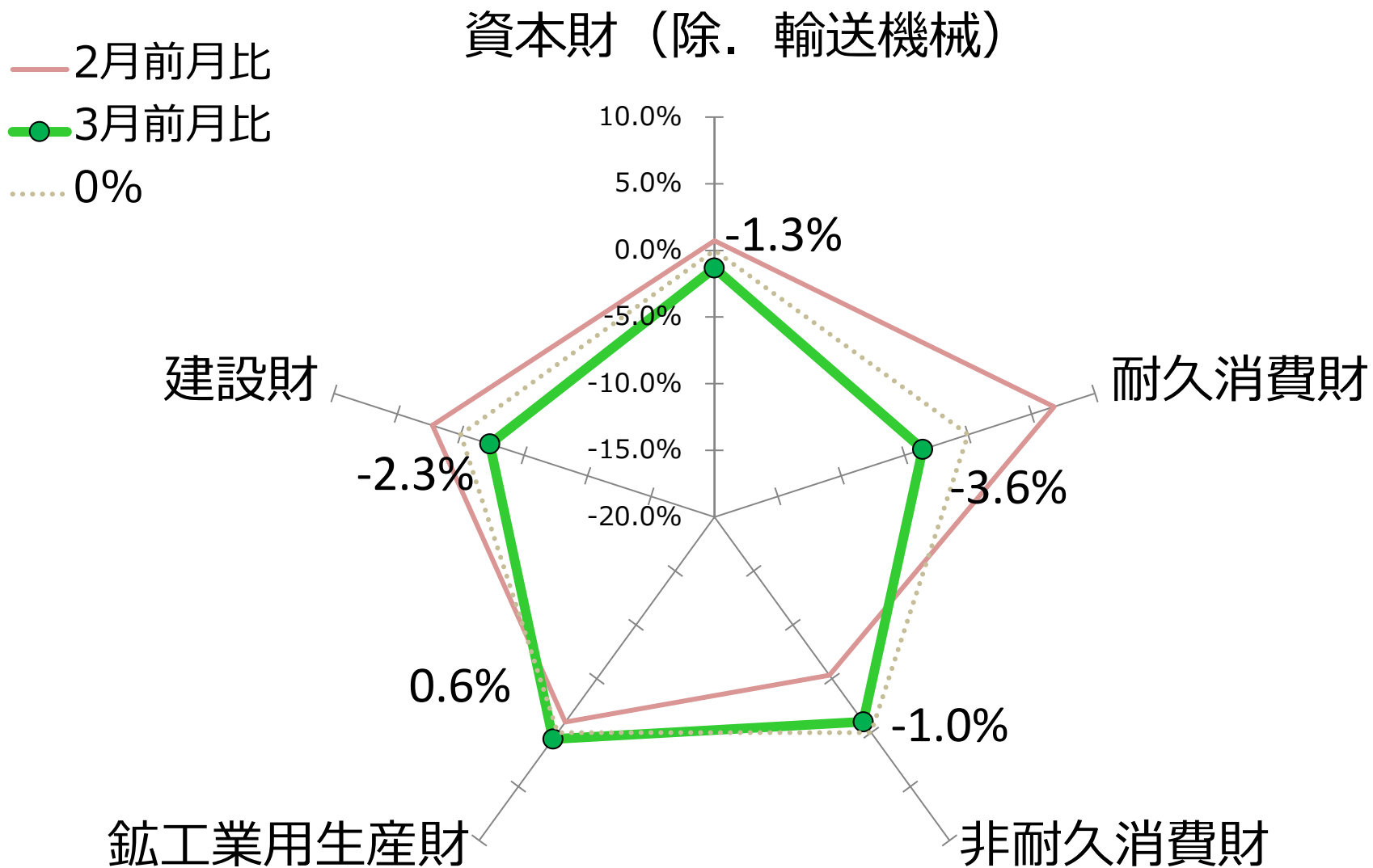
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2019年3月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

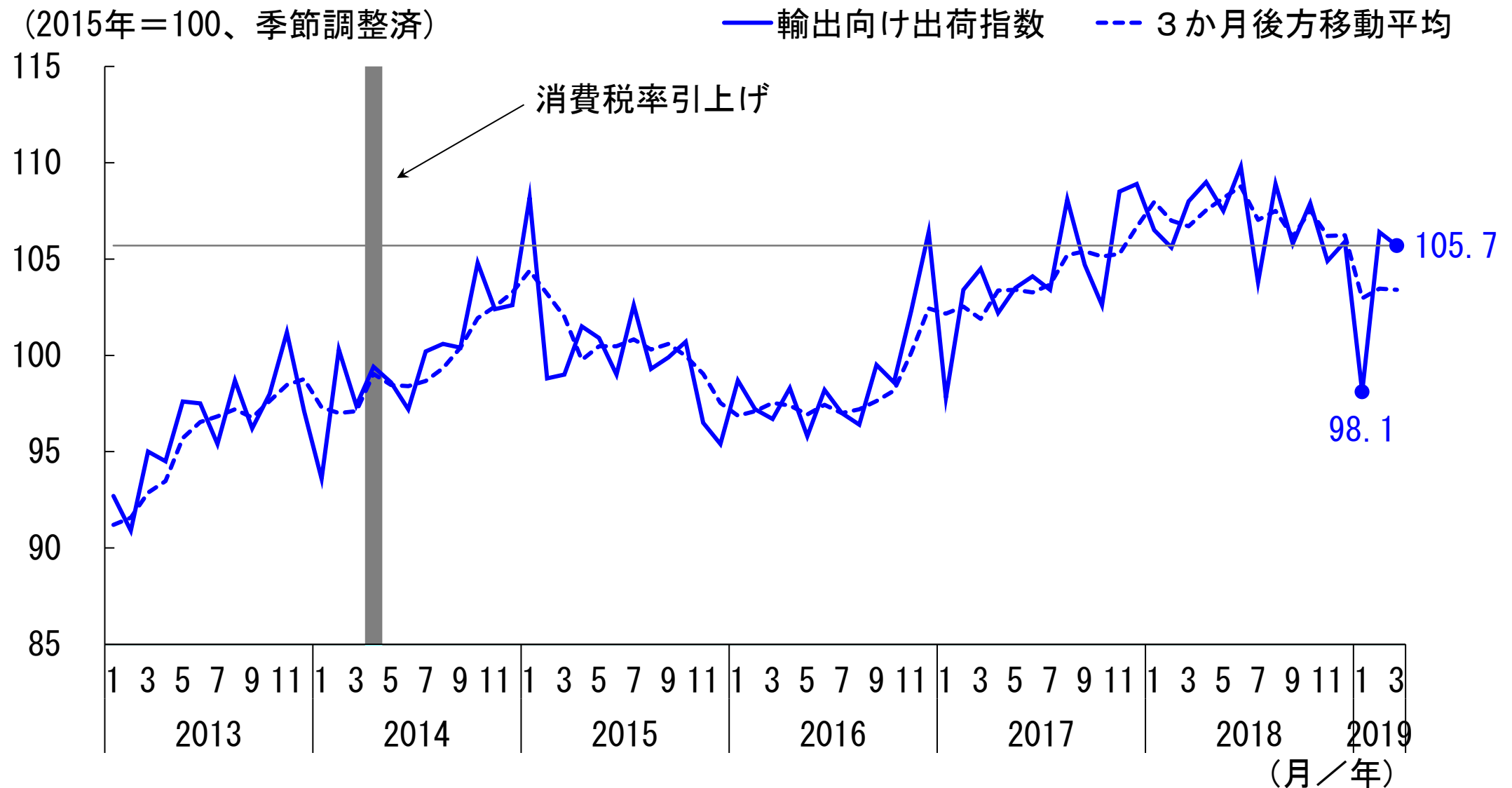
財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-0.4	-
耐久消費財	-3.6	-0.36
非耐久消費財	-1.0	-0.20
その他用生産財	-2.1	-0.17
建設財	-2.3	-0.15
資本財(除. 輸送機械)	-1.3	-0.12
鉱工業用生産財	0.6	0.26

国内向け財別出荷指数前月比の比較 (2019年2月、2019年3月)



輸出向け出荷指数の動向

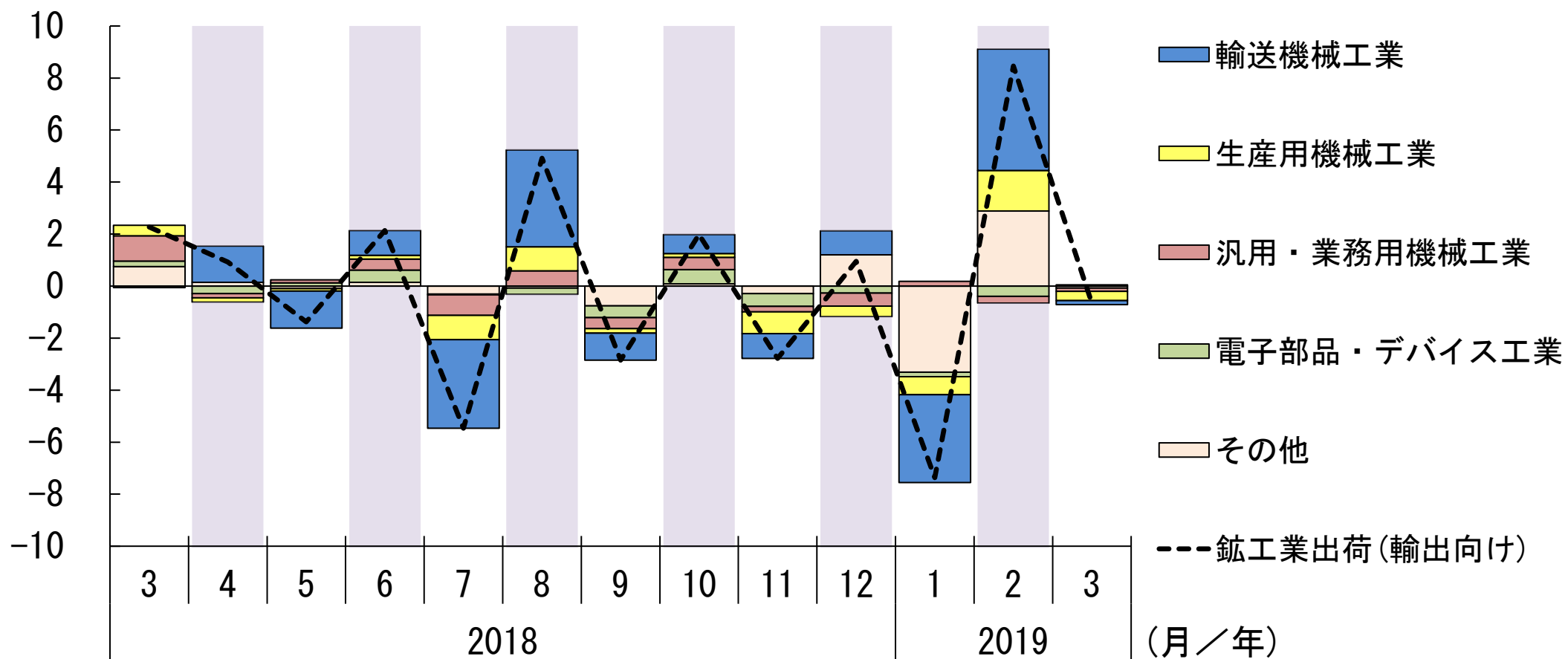
- ・ 2019年3月の輸出向け出荷指数は105.7(前月比-0.7%)と2か月ぶりの低下。
- ・ 2019年1月の98.1以来の指数水準。



輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2019年3月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業が上昇したものの、生産用機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

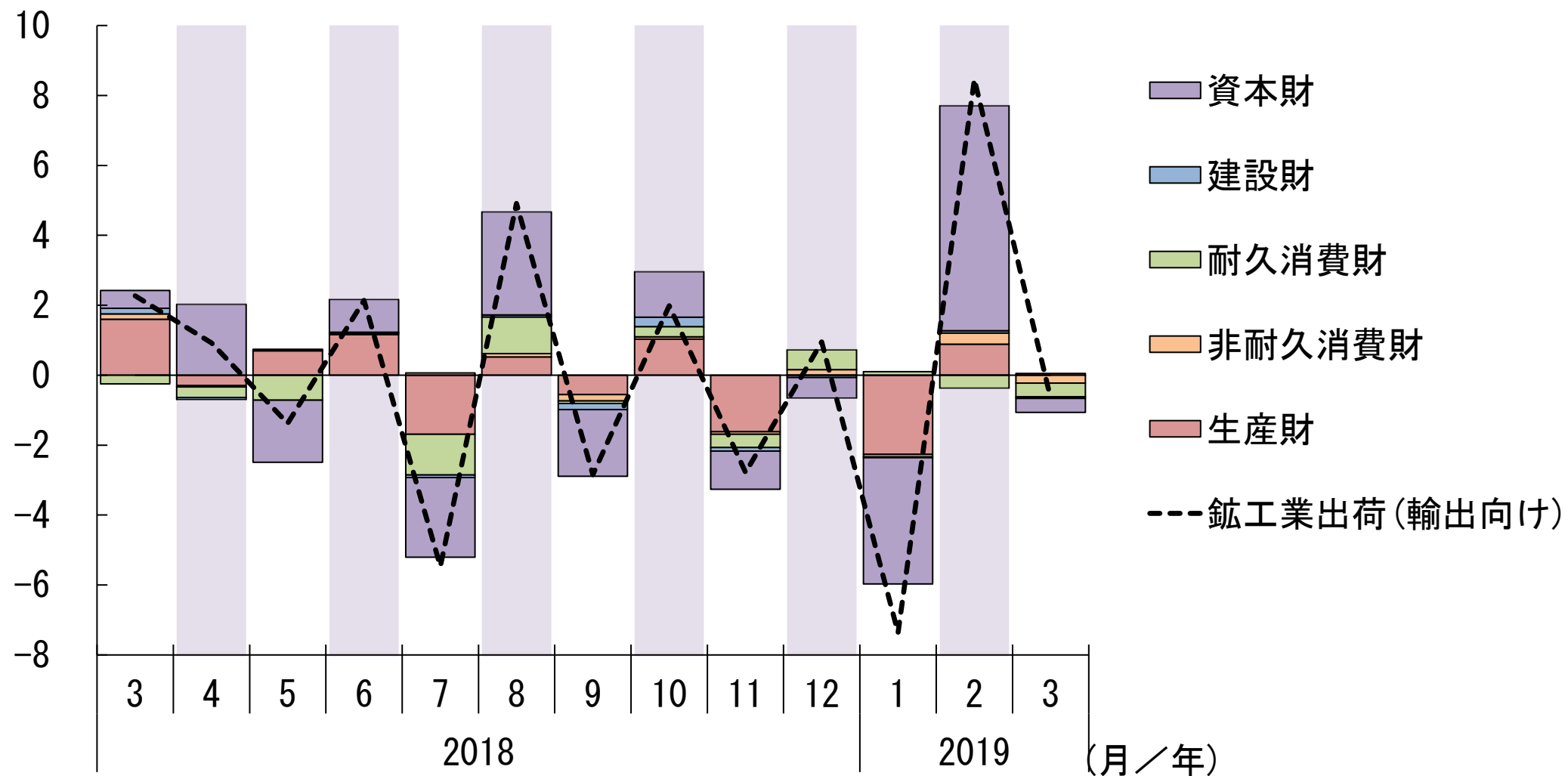


(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2019年3月の輸出向け出荷を財別にみると、生産財が上昇したものの、耐久消費財などが低下。

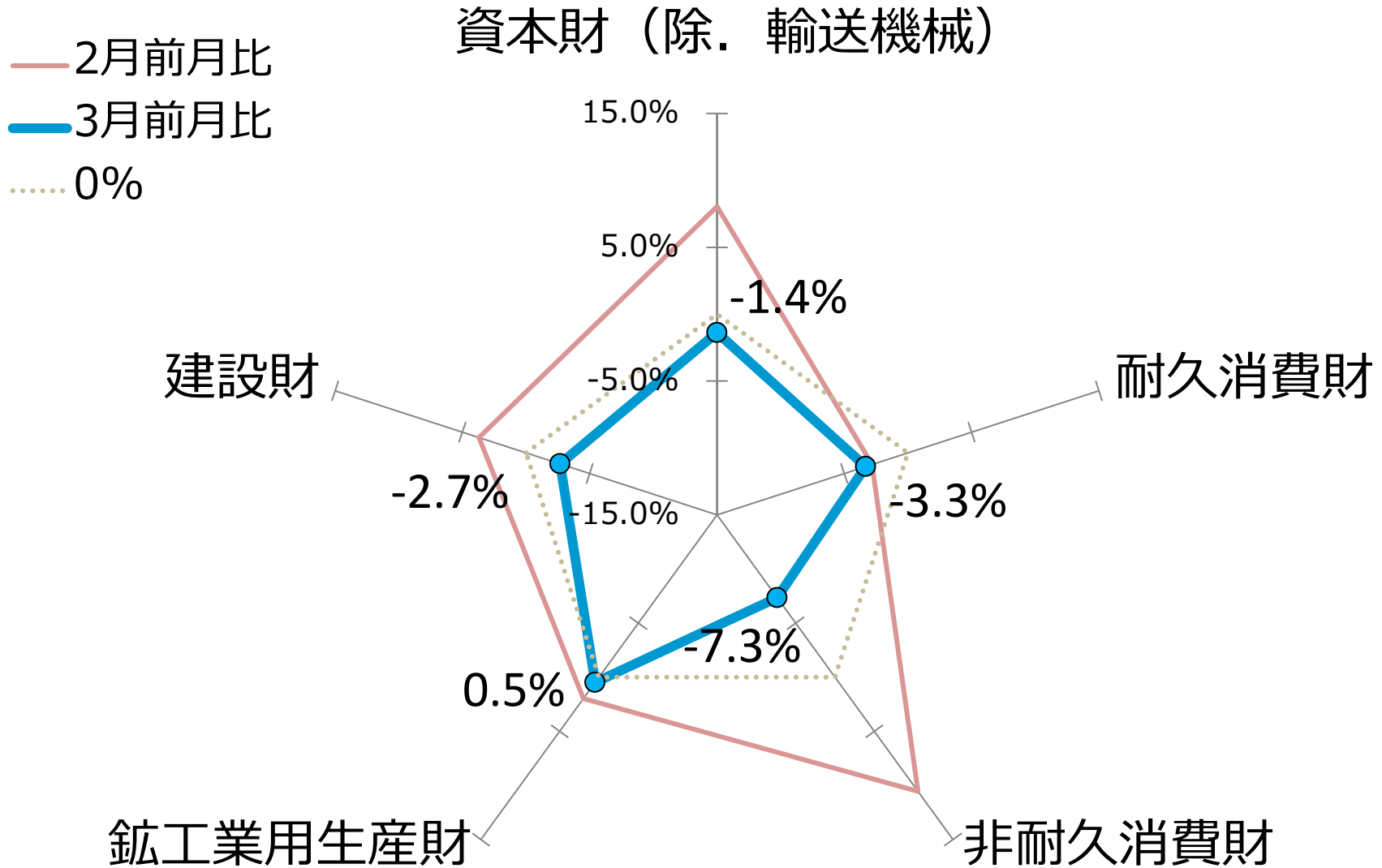
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2019年3月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-0.7	—
耐久消費財	-3.3	-0.40
資本財(除. 輸送機械)	-1.4	-0.27
非耐久消費財	-7.3	-0.23
その他用生産財	-4.1	-0.10
建設財	-2.7	-0.04
鉱工業用生産財	0.5	0.25

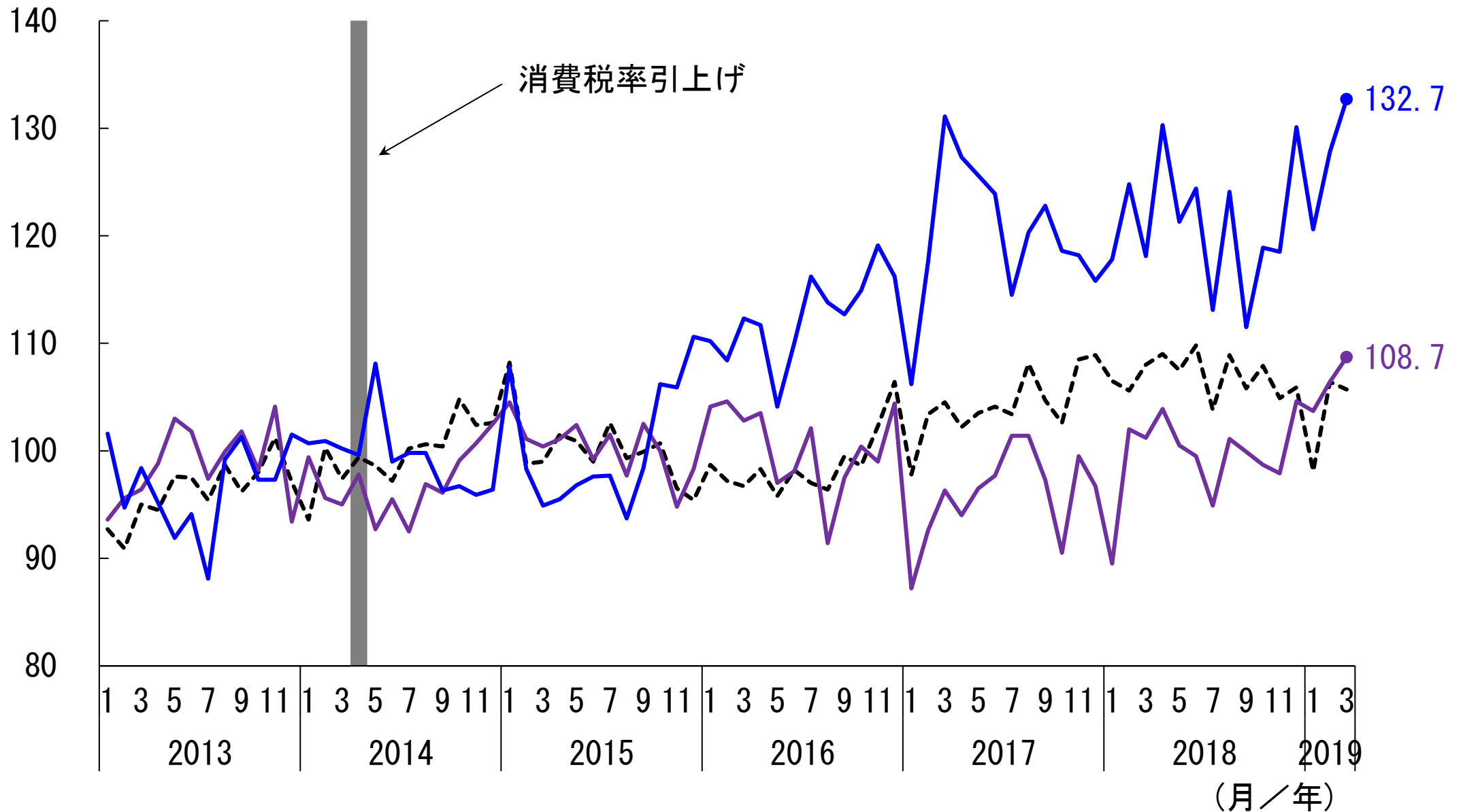
輸出向け財別出荷指数前月比の比較 (2019年2月、2019年3月)



欧米向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

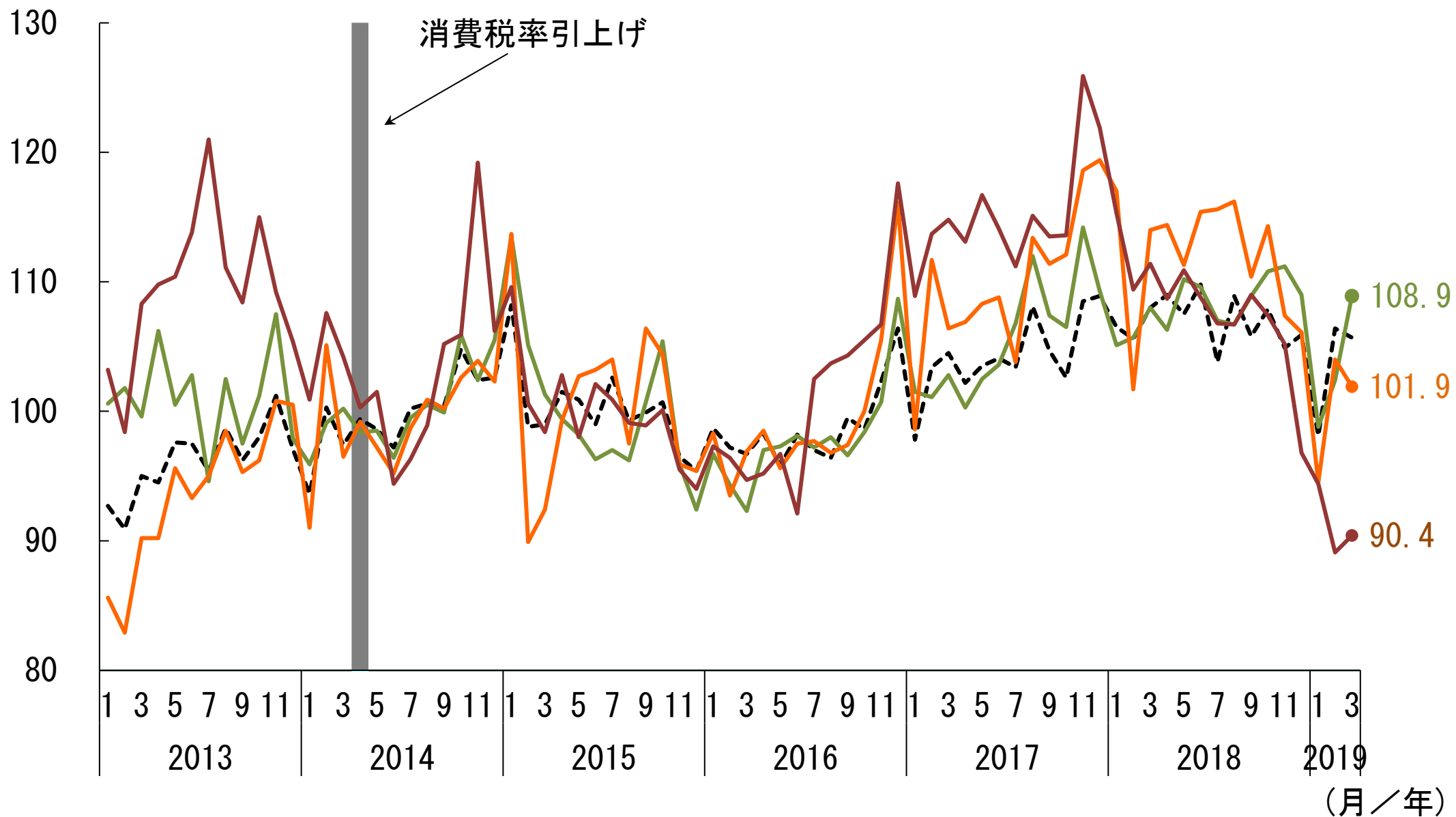
--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け



(注) 貿易統計に基づく試算値

アジア向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済) --- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

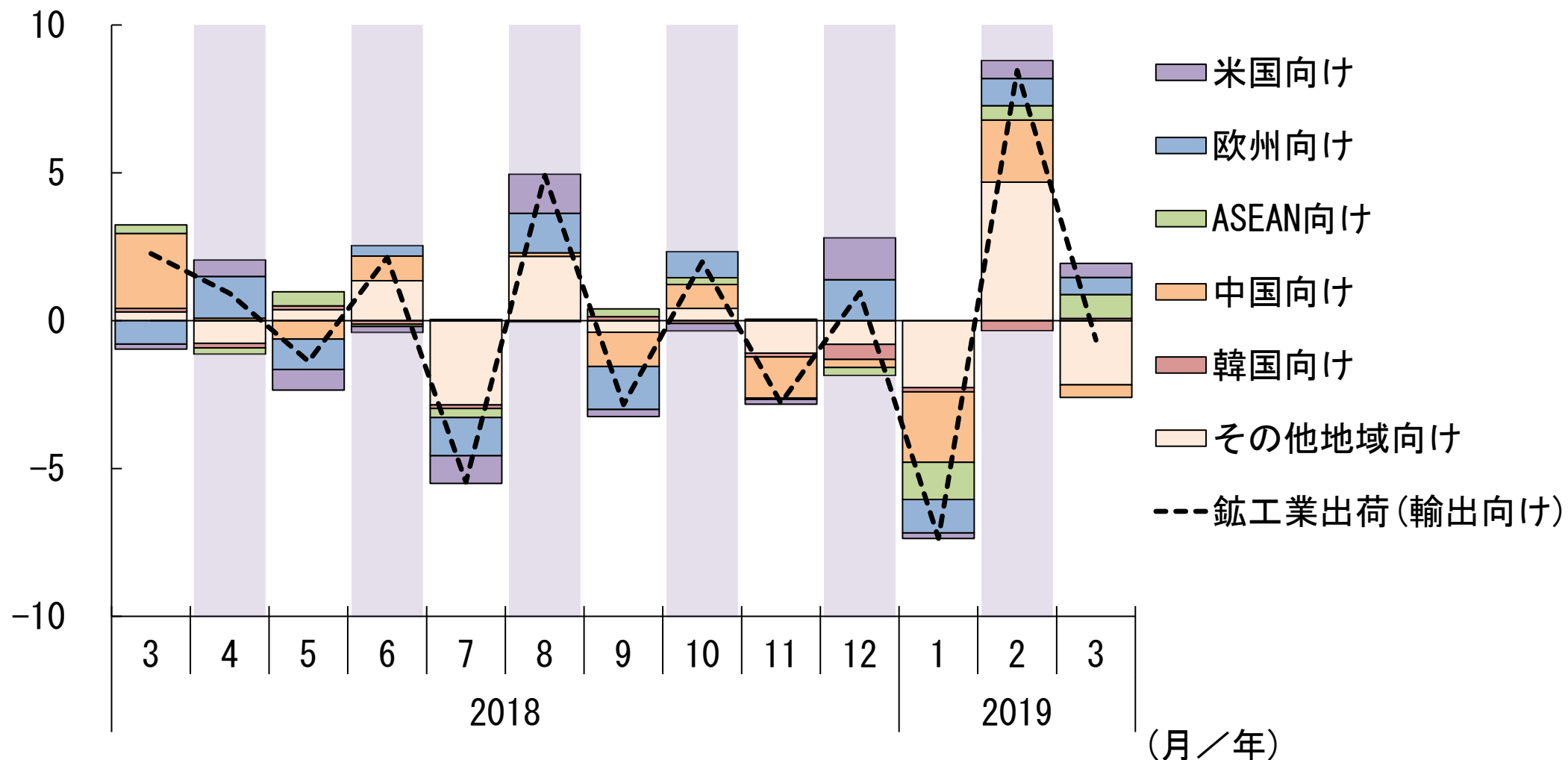


(注) 貿易統計に基づく試算値

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

・ 2019年3月の輸出向け出荷を、地域別にみると、ASEAN向けなどが上昇したものの、その他地域向けなどが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

主要業種、財の出荷前月比 米国／中国向け出荷の影響度合い

業種別分類	輸出向け出荷 前月比 (%)	米国向け 寄与度 (%ポイント)	中国向け 寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	2.0	16.95	-8.06
生産用機械工業	-2.5	-6.70	-2.41
汎用・業務用機械工業	-1.3	-3.40	-5.37
電気・情報通信機械工業	3.7	11.58	-3.76
輸送機械工業	-0.5	8.59	-7.70
化学工業(除. 医薬品)	4.9	-4.89	-0.29

財別分類	輸出向け出荷 前月比 (%)	米国向け 寄与度 (%ポイント)	中国向け 寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	0.5	0.59	1.18
資本財(除. 輸送機械)	-1.4	-3.06	-3.22
建設財	-2.7	2.92	-1.87
耐久消費財	-3.3	21.61	-6.07
非耐久消費財	-7.3	-22.86	-23.19

(注) 米国と中国以外の地域への輸出も相当量あることから、米国向け出荷と中国向け出荷の寄与度を合計しても輸出向け出荷の前月比になるわけではない。
それぞれの寄与度は、輸出向け出荷全体に対する米国向け出荷と中国向け出荷の影響度合いの目安として示している。

2019年3月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	100.1 0.6%	100.6 -0.4%	98.5 2.6%
指数水準	2018.12 102.5以来 I 2014.3 108.3 II 2014.1 105.9 III 2017.12 105.0	2018.1 98.7以来 ①2013.1 97.8 ②2018.1 98.7 ③2014.8 98.8	2018.12 101.7以来 I 2014.3 110.2 II 2018.10 105.2 III 2014.1 105.0
前月比の動き	5か月ぶり+ (2018.10以来)	2か月ぶり- (2019.1以来)	5か月ぶり+ (2018.10以来)
前月比幅	2018.10 3.6%以来 I 2014.3 5.0% II 2014.9, 2018.10 3.6% III 2017.12 3.3%	2019.1 -1.9%以来 ①2014.4 -7.7% ②2018.1 -5.8% ③2017.5 -2.5%	2018.10 3.7%以来 I 2014.3 9.8% II 2018.7 7.1% III 2014.6 7.0%

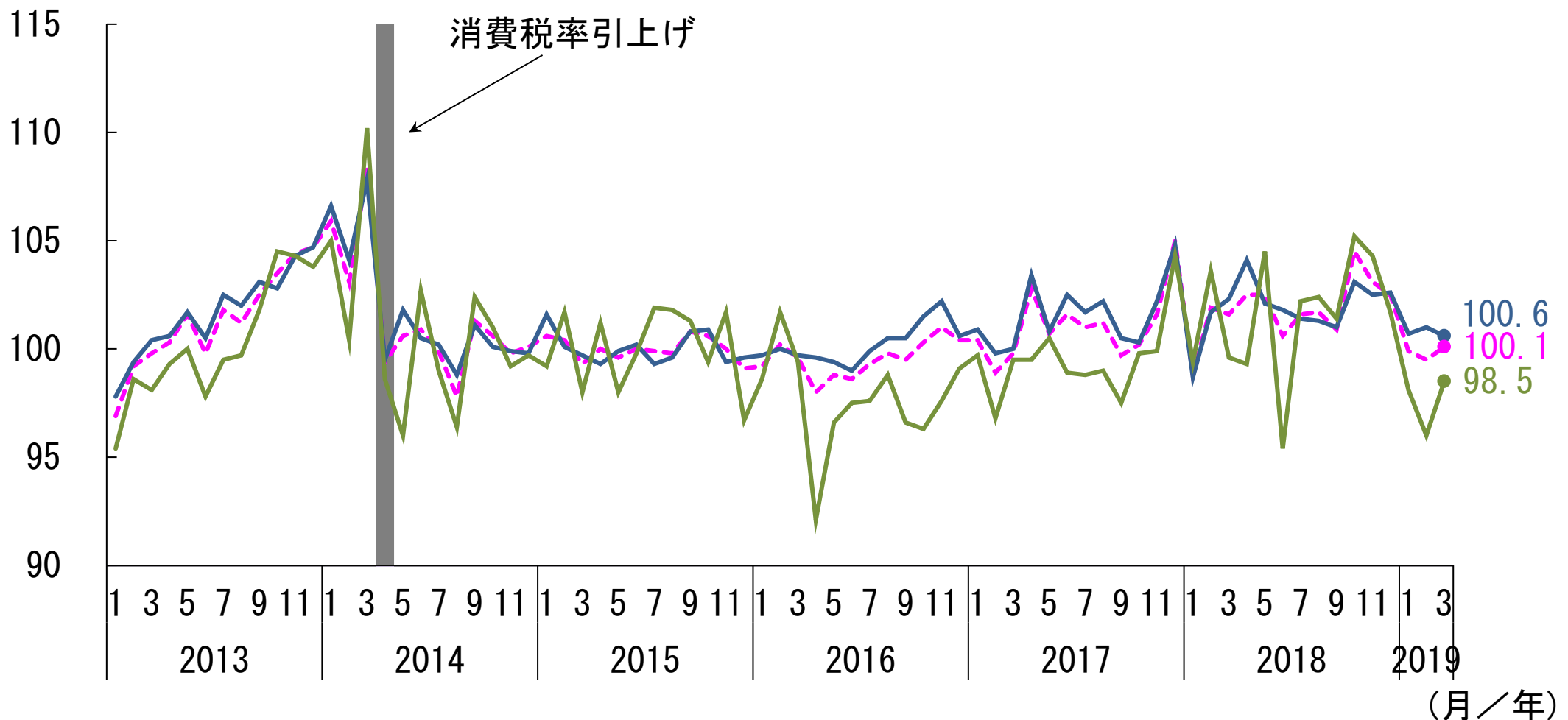
(注) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業総供給指数の動向

- ・2019年3月の鋳工業総供給指数は100.1(前月比0.6%)と5か月ぶりの上昇。
- ・内訳をみると、国産は100.6(前月比-0.4%)と2か月ぶりの低下、輸入は98.5(前月比2.6%)と5か月ぶりの上昇。

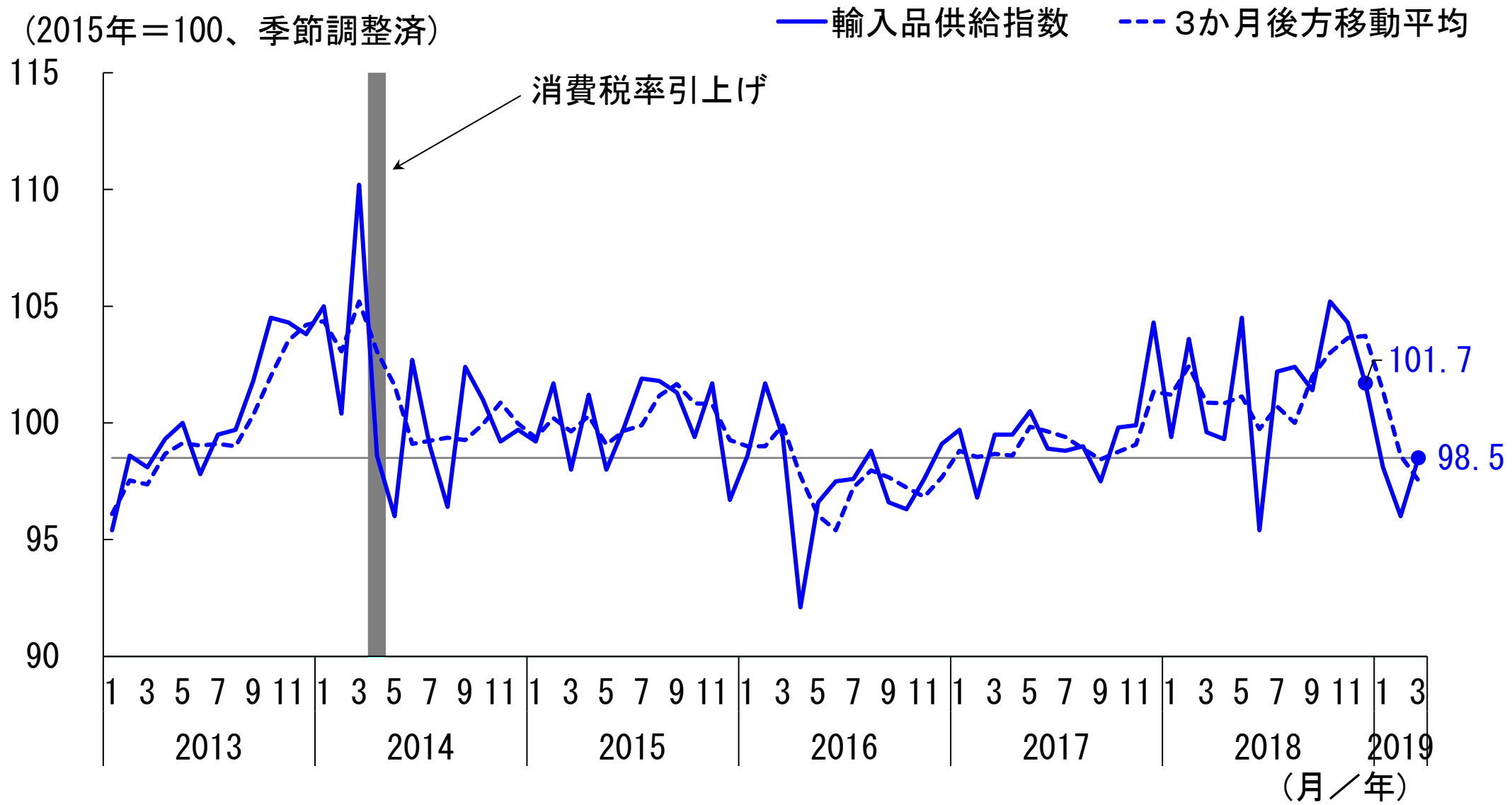
(2015年=100、季節調整済)

--- 鋳工業総供給 — 国産 — 輸入



輸入品供給指数の動向

- ・ 2019年3月の輸入品供給指数は98.5(前月比2.6%)と5か月ぶりの上昇。
- ・ 2018年12月の101.7以来の指数水準。



2019年1-3月期の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

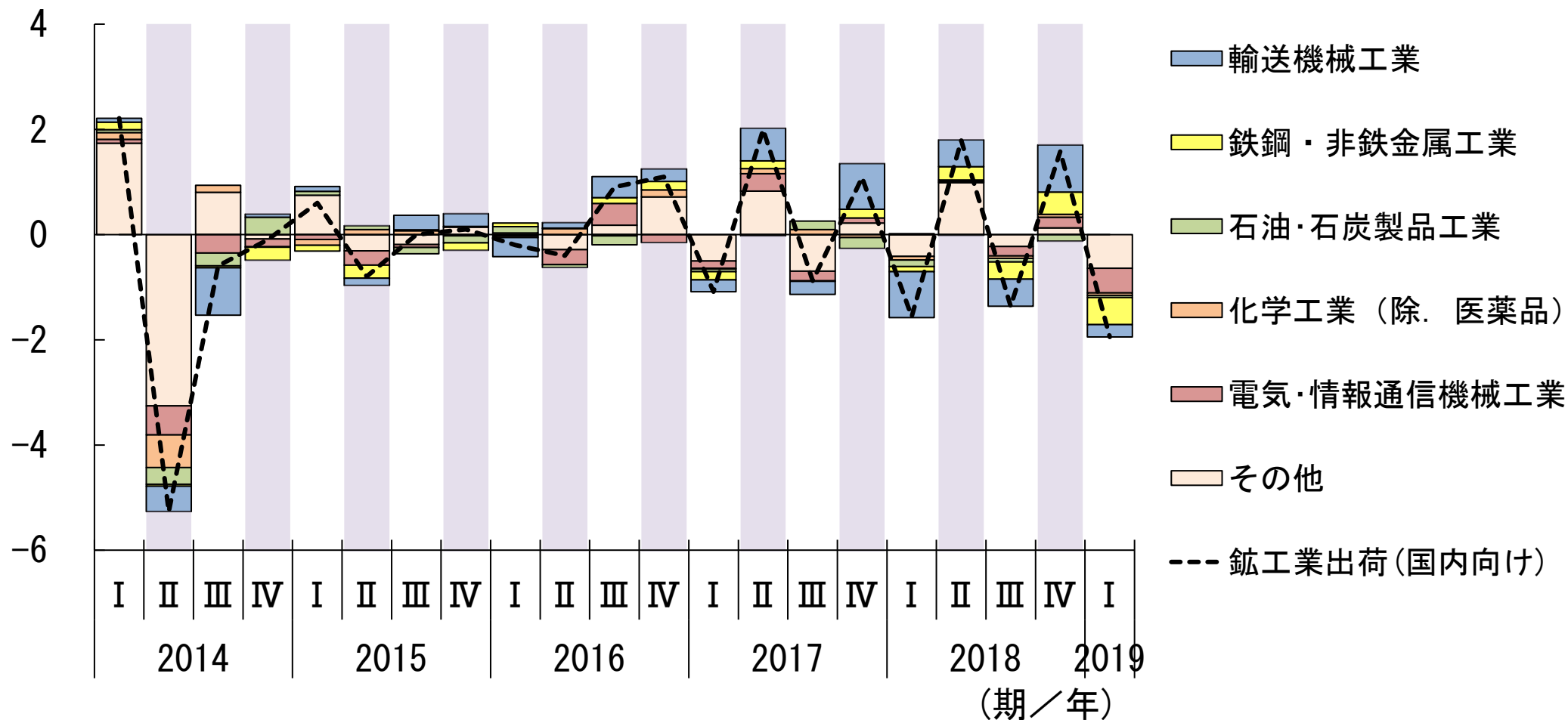
四半期	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前期比	101.5 -1.8%	103.4 -2.6%	100.8 -1.9%
指数水準	2017 I 100.7以来 ①2013 I 98.0 ②2016 II 98.8 ③2015IV 99.3	2017 II 103.3以来 ①2013 I 92.9 ②2013 II 96.5 ③2013 III 96.8	2018 I 100.8以来 ①2013 I 99.2 ②2016 II 99.3 ③2016 I 99.7
前期比の動き	2期ぶりー (2018 III 以来)	2期ぶりー (2018 III 以来)	2期ぶりー (2018 III 以来)
前期比幅	2014 II -4.1%以来 ①2014 II -4.1% ②2019 I -1.8% ③2018 III -1.2%	2015 IV -3.1%以来 ①2015 IV -3.1% ②2019 I -2.6% ③2018 III -2.4%	2014 II -5.3%以来 ①2014 II -5.3% ②2019 I -1.9% ③2018 I -1.6%

(注) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け出荷前期比 業種別の影響度合い

- 2019年1-3月期の国内向け出荷を、主要業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業などが低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



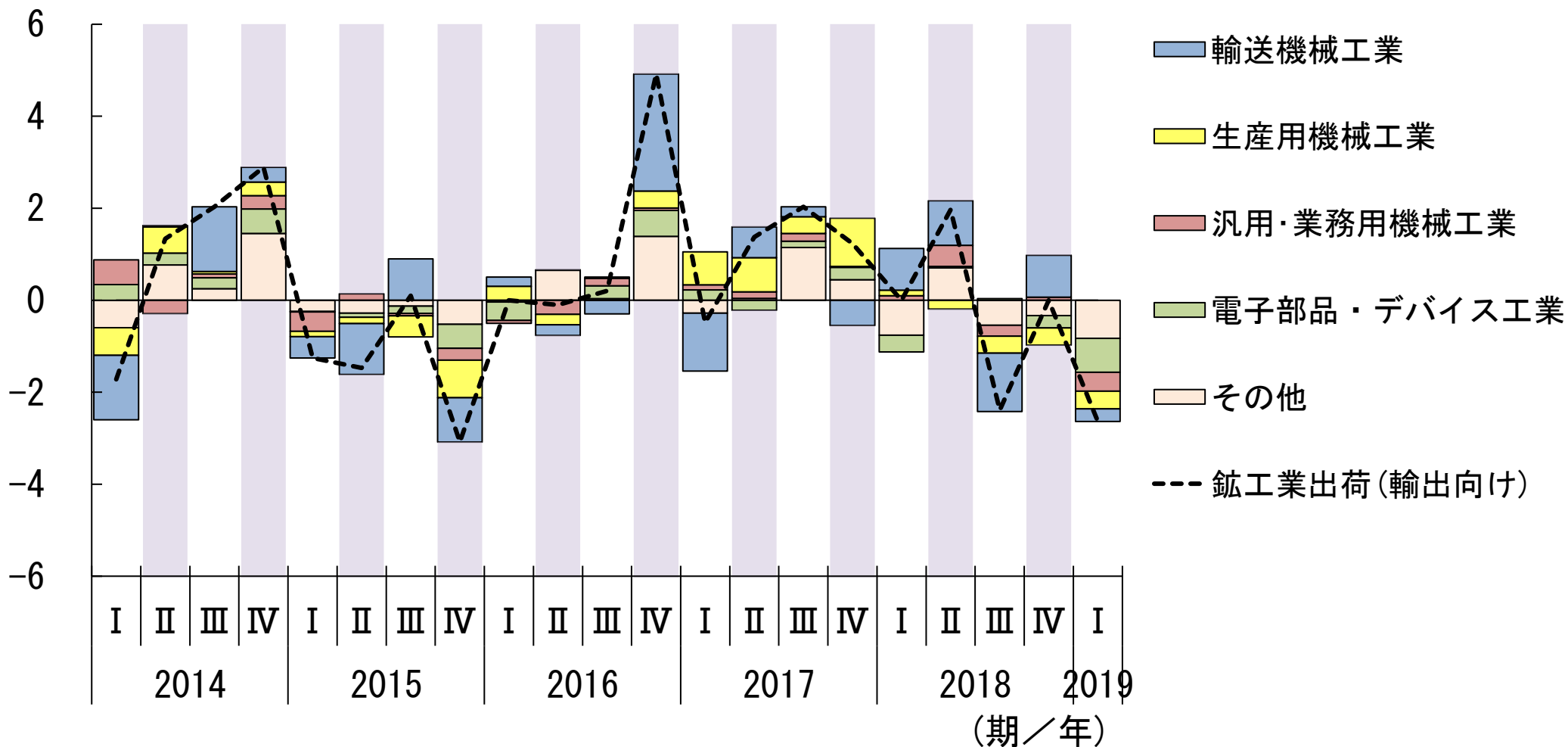
(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前期比 業種別の影響度合い

- 2019年1-3月期の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業などが低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

2018年度の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

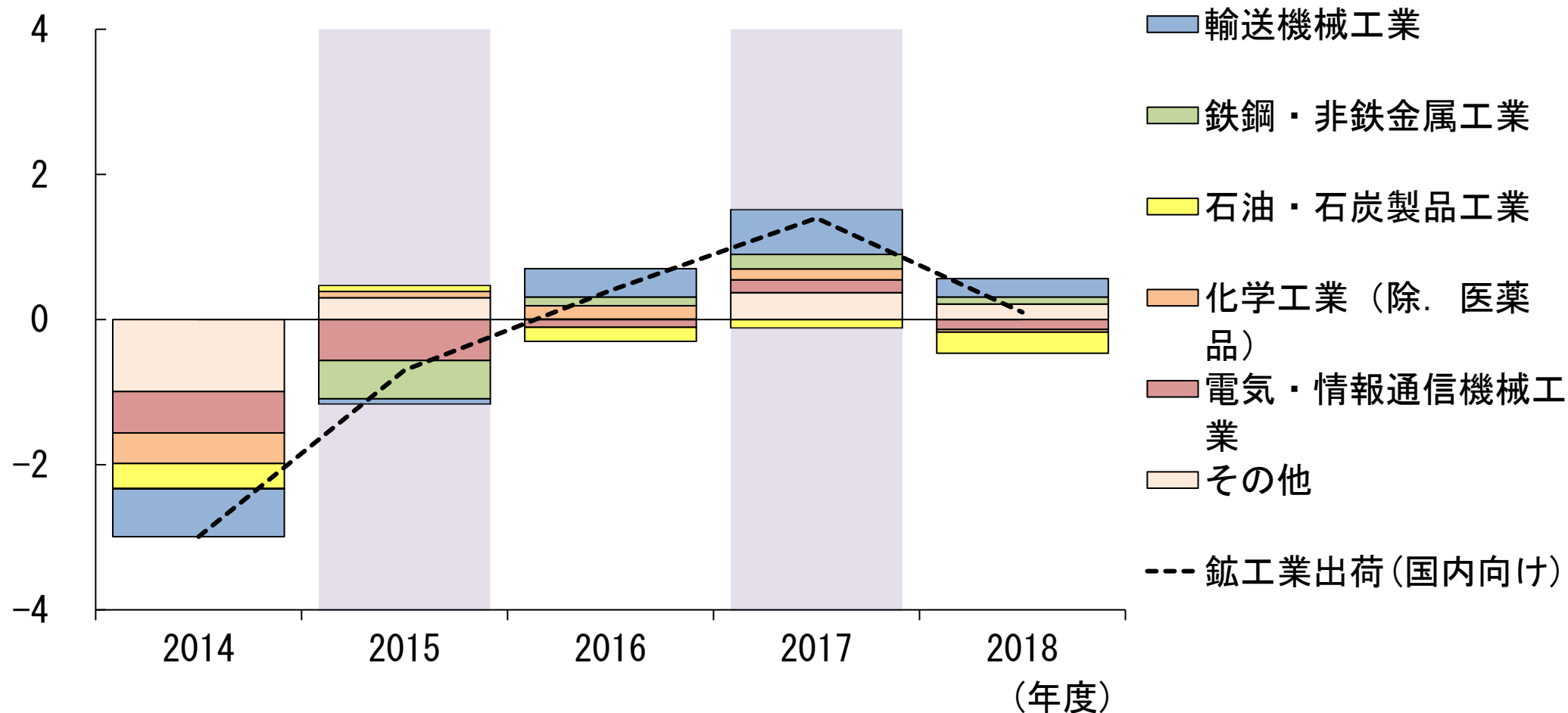
年度	出 荷	輸 出	国 内
原指数	102.7	106.1	101.7
前年度比	0.3%	0.6%	0.1%
指数水準	2015年基準最高水準 I 2018 102.7 II 2017 102.4 III 2013 102.3	2015年基準最高水準 I 2018 106.1 II 2017 105.5 III 2014 101.1	2013 103.6以来 I 2013 103.6 II 2018 101.7 III 2017 101.6
前年度比の動き	3年度連続+ (2016～当年度)	3年度連続+ (2016～当年度)	3年度連続+ (2016～当年度)
前年度比幅	2017 2.2%以来 I 2017 2.2% II 2016 0.6% III 2018 0.3%	2017 5.6%以来 I 2017 5.6% II 2014 3.8% III 2016 1.1%	2017 1.4%以来 I 2017 1.4% II 2016 0.4% III 2018 0.1%

(注) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位までの数値

国内向け出荷前年度比 業種別の影響度合い

- 2018年度の国内向け出荷を、主要業種別にみると、石油・石炭製品工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇。

(前年度比、%、%ポイント)



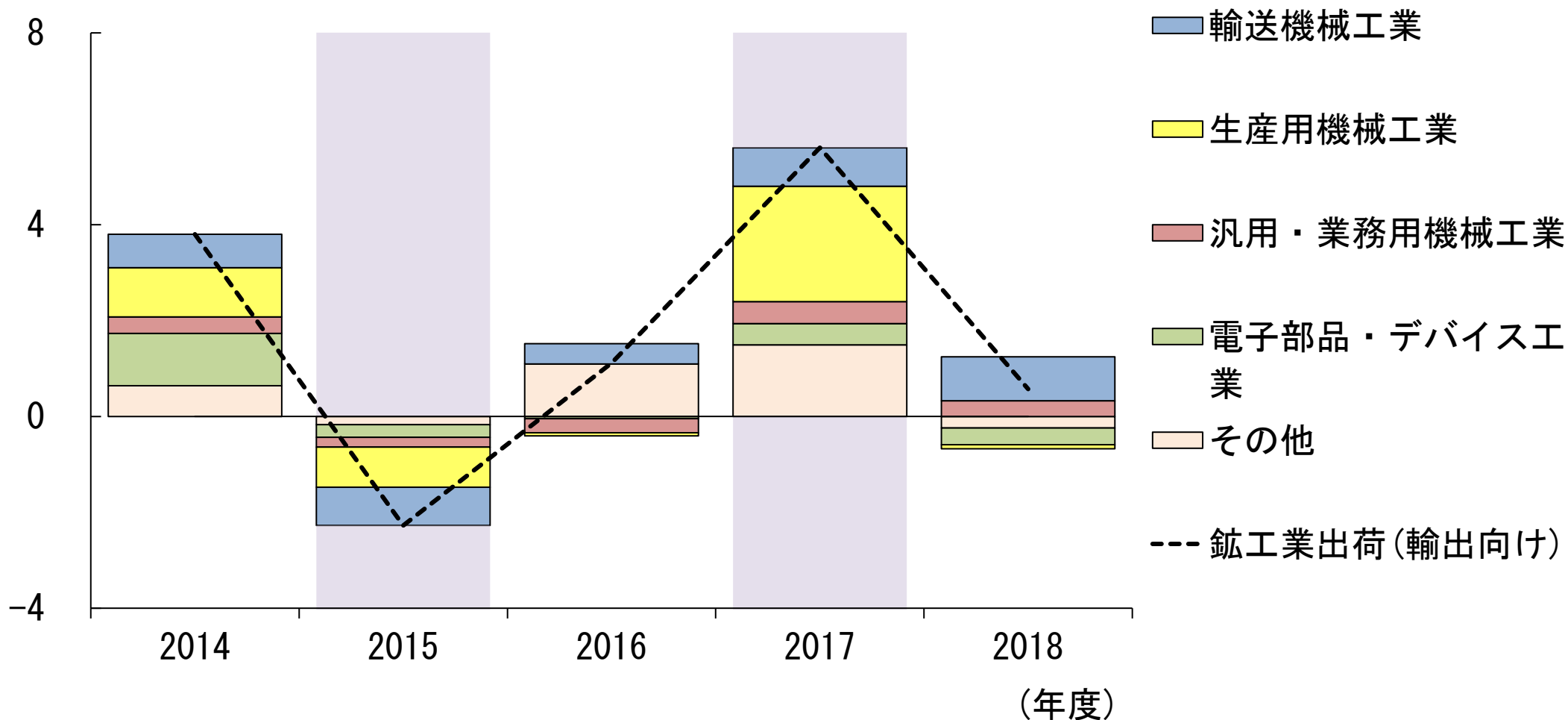
(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前年度比 業種別の影響度合い

- 2018年度の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇。

(前年度比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。